

皆さんの質問にお答えします～中学部編①～

今回は、中学部の保護者の皆様からいただいた質問等にお答えします。紙面ですので質問した方への個別・具体的回答にはなっておりません。ご了承ください。中学部の保護者の皆様からの質問等が多く、2回に分けてお答えします。気になるところだけでもご覧いただければ幸いです。

Q. 将来何をしたいか、なりたいかを聞くと、毎回答えがコロコロ変わります。

USJ、警察官、仮面ライダーの俳優、トラックの運転手、学校のお手伝い、水族館の飼育員、生き物が好きなので、そういった物を扱う仕事、工場での組み立ての仕事等…。

“料理が好きだから調理師！”“ケーキが好きだからパティシエ！”“PCが得意だからプログラマー！”“漫画を描くのが得意だから漫画家！”“youtuberになりたい！”“歌手！”等々

“答えが毎回コロコロ変わる”のは、夢、今好きなこと(人)、やってみたいこと等が、本人もあやふやなまま答えているだけで、好きな食べ物が、お寿司！ケーキ！チョコ！唐揚げ！と毎回変わるような感じです。中学部から高等部にかけて、少しずつ仕事としてやること、趣味にすること、興味があること、好きなことを考えられるように学習が進んでいきます。

高等部生徒たちには「好きなら今すぐチャレンジできるよ！」と、次のような提案もします。

例えば… 時間を見つけて自分で料理・お菓子作りする！料理教室に参加してみる！

自分で描いた絵をツイッターやInstagramにアップし、公開してみる！

自作動画を youtube や Tiktok にアップする！ 等々



卒業を待たなくとも、今すぐできる(やれる)ことはたくさんあります。10代で活躍している youtuber もたくさんいますよね。もちろん保護者の見守りやサポートは必要です。



“無理しない、飽きたらやめる”で OK です。まずやってみる“経験”が大切。自分がとった風景写真をInstagramにアップする卒業生、会社で働きながら、休日には Tiktok に動画をアップして小遣い稼ぎしている卒業生もいますよ！

📌ポイント！ 夢は変わってもオーケー。でも、今、即チャレンジも可能です！

Q. 専門職に就きたいとなると専門学校への進学もできるのか。その場合、費用等はどのようなになるのか。

どのような職業をお考えでしょうか。本校からはこれまで進学実績はないですが、他校(知的障害校)では、理美容の専門学校に進んだ生徒はいます。学費は年間70～150万円くらいかかるかもしれません。負担軽減のため、国の「高等教育の修学支援新制度」があります(高等教育の修学支援新制度と[検索](#))。学びたい内容によっては、他県の学校に通うことになり、アパートや寮での生活となります。そうすると、**学費** + **生活費**がかかりますし、身の回りのことは自分で全てやる(独立する)こととなります。目指すならお金や独立のための準備が必要です。



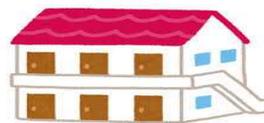
まずは高等部卒業までの間に、さまざまな経験や学習をとおして、本人がやりたいこと、仕事にしたいことを考えていきましょう。ご家庭で保護者の仕事、生活費のことを話すのも、本人のイメージを広げることになります。また、家庭で本人に任せること(できる)を増やしましょう！

📌ポイント！ 進路は本人の希望で決めましょう！親は“意志決定の支援”というスタンスで。

Q. ずっと一緒に暮らしたいが、親の高齢化や入院など、何かあったときに入れるグループホームはあるか心配です。

Q. 施設に入所する時期や料金等が不安です。

Q. 就職後一人暮らしするとなった場合、支援等はあるのか。



過去の進路だよりでも度々取り上げていますが、卒業後も自宅で過ごすとしても、親のいない生活(自立生活)を体験させるために、まずはショートステイ等を活用しましょう。障がいを感じているならなおさら、放課後等デイサービスの利用だけでなく“泊まる経験”も積み重ねていきましょう。本人の慣れ以外に、受け入れる施設職員にも慣れてもらうことができます。そうすると、いざというときに、本人も受け入れ側も不安無く対応できます。

グループホームや施設入所時の費用は、家族や本人の収入によって変わりますが、障害基礎年金+工賃(給料)+自治体からの家賃補助金等でやりくりできるところが多いです。もちろん新築・好立地等によって不足分が発生する場合があります。

アパート利用の場合は家賃補助金がなくなり、グループホーム利用時のような手厚い福祉サービスは受けられません(利用可能なサービスはありますが)。

進路指導としては、一人暮らしを希望する生徒には“グループホーム ⇒ グループホーム(サテライトタイプ) ⇒ アパート”と移行し、自立度を高めてくことをおすすめしています。



いずれにしても、小、中学部段階から、レスパイトサービスとしてもショートステイを利用してはいかがでしょう。

ポイント! 親亡き後を想定し、見学・体験・ショートステイの利用を始めましょう。

おまけ 入所・グループホームも卒後の生活として考えましょう!

グループホームだけでなく入所施設も選択肢として考えてみると良いでしょう。国の政策により、現在は入所施設よりもグループホームの利用施策が推進されていますが、入所施設の手厚いサービスにも魅力があります。ただ、入所施設には高齢利用者も多く、見学した保護者にとっては、学校や放課後等デイサービスのような若い集団とのギャップ(年寄りばかり! 活気がない!)を感じるようです。しかし、少し冷静に考える必要があります。

高齢障がい者がゆったり生活できている施設ということは、親亡き後、本人が安心してずっと生活できるということです。入所施設では、様々な支援体制が構築されていますし、給食もありますから栄養面でも安心です(グループホームは弁当や自炊のところが多い)。

まずは見学・体験して、本人に適切な生活の場を冷静に選べるようにしましょう。

Q. 高等学校や進路について困っています。是非相談したい。

進路担当としてはいつでもご相談に乗ります! でも、まずは担任との面談時等に相談してもよいですよ。担任から進路担当に連絡が来れば、卒業後の進路等を含め情報提供できます。

高等学校には特別支援学校のような現場実習はありませんので、個別にサポートが必要な生徒の場合、自分に合った進路に進むまで、かなり苦勞することもあります。

下図のように、右側ほど“自分でがんばる”度合いが高くなると考えてください。



支援度 特別支援学校高等部(普通科) > 高等養護学校(産業科) > 高等学校

ポイント! まず個人面談等で担任に相談。進路担当への質問もウエルカムです〜♪